

# 地域コミュニティ組織、NPO、ボランティア団体、行政などのネットワークの輪を広げます

久留米市では、協働によるまちづくりを推進するためにも、地域コミュニティ組織やNPO、ボランティア、行政などのネットワークづくりに取り組んでいます。平成24年度は、「防災とボランティア活動」というテーマでネットワーク交流会を開催しています。

## 第1回ネットワーク交流会～九州北部豪雨から考える市民活動のネットワーク～



▲ワークショップでさまざまな団体とつながることができました。

第1部は、平成24年7月の九州北部豪雨の際、久留米市災害ボランティアセンターに携わったNPO法人にいがた災害ボランティアネットワークの季仁鉄(りじんてつ)氏による講演。普段は、まちづくり、福祉、子育て、健康づくり、環境などさまざまな分野で活動している参加者も、災害時にそれぞれの活動が活かせることが分かりました。

第2部は、九州北部豪雨の2倍の規模の水害を想定して、「自分の団体の強み・弱み」をカードに書き出しペアリングするワークショップを行いました。コーディネーターは第1部に続き、季仁鉄氏と株式会社アーバンデザインコンサルタントの十時裕(とときひろし)氏。他の団体やグループとつながることで解決できることがあることや、どんなに小さな活動であってもそれを求めている人が大勢いることに気づき、ネットワークづくりの必要性を実感しました。

【開催】平成24年10月21日(日)  
14:00～17:00  
【会場】久留米市市民活動サポートセンターみんくる  
【参加人数】のべ107名

## 第2回ネットワーク交流会～九州北部豪雨から考える災害時の情報伝達～

第1部では、九州北部豪雨で被災された方、災害ボランティア活動をされた方など、それぞれの立場から災害時の情報伝達についてお話いただきました。

行政だけに頼るのではなく、また、相手を知らないと動けないし思いも伝わらないため、日頃から地域コミュニティとNPO・ボランティア団体がつながっておくことが災害時の情報伝達にも役立つことを再認識できました。

第2部では、「具体的に地域コミュニティとNPO・ボランティア団体が普段からつながるためにはどうしたらいいのか？」をある校区の年間活動計画をもとに考えました。まずは地域がどんな活動をしているのかを知り、どんな場面でNPO・ボランティアと一緒に活動できるかを話し合いました。

参加者からは「近くで災害があり、人ごとではないと思った。そのためにも日頃から人と人のつながりを作っておくことや情報の大切さを感じた」「学生も地域とつながることである可能性が広がるのが分かった」などの声が聞かれました。



▲パネルディスカッションの様子

【開催】平成24年11月25日(日)  
13:30～16:30  
【会場】久留米市市民活動サポートセンターみんくる  
【参加人数】のべ146名  
【企画】協働ネットワークを進める会

## 「ボランティア・チャレンジ講座～筑後川大水害の歴史から学ぶ市民活動～」

【日時】平成25年1月19日(土)14:00～15:30 【場所】久留米市市民活動サポートセンターみんくる  
【講師】大矢野 栄次氏(久留米大学経済学部教授)【定員】100名 【参加費】無料  
【主催・申込・問合せ先】久留米市市民活動サポートセンターみんくる 久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門6階  
TEL/0942-30-9067 FAX/0942-30-9068 E-mail/minkuru@kcs.jp  
講座終了後に「わいわい交流会」を行います。お菓子をつまみながら、自己紹介・情報交換など自由に交流ができます。ぜひお気軽にご参加ください。(参加費:100円)

### 編集後記

「協働」はそれ自体が目的ではなくひとつの手法です。「協働」を行うのも人ですから、相互のコミュニケーション・信頼関係が重要です。本紙製作にあたっては久留米市と協働しましたが、「お互いのよいところを持ち寄ってよりよいものを製作できたか」という観点からは未だ十分ではなかったかもしれません。協働の目的を共有し、対等の立場で取り組む協働のまちづくりを実現するには、両者で模索が必要だと感じました。

ジョイナス39号についてのご意見は、TEL:0942-30-9064 FAX:0942-30-9711  
E-mail:tv-sien@city.kurume.fukuoka.jp までお寄せ下さい。平成25年1月1日発行  
発行:久留米市協働推進部協働推進課(久留米市城南町15-3) 編集:特定非営利活動法人久留米市市民活動支援機構

# ジョイナス

No.39 2013.1.1

ジョイナスは、市民活動の情報交換の場、ネットワークの結び目を目指す情報紙です。一緒に(JOIN US)、元気に、活動しましょう。久留米市のHPでも読むことができます。  
<http://www.city.kurume.fukuoka.jp/>

## 2013年も協働のまちづくりを進めていきましょう!

あけましておめでとうございます。

本年も久留米市は、地域コミュニティ組織、NPO、ボランティア団体、事業者などみなさんによる協働のまちづくりを進めます。

みなさん、「協働」という言葉や「協働のまちづくり」という言葉はご存知ですか?ここで少し「協働」「協働のまちづくり」について簡単に紹介しましょう。

子育て交流プラザぐるん(天神町)の催し物の様子です。NPO法人とボランティア、市が協働して運営しています。



### 協働のまちづくりってなに?

市民、NPO、ボランティア団体、地域コミュニティ組織、事業者などの自発的な市民活動と行政とがお互いのよいところを持ち寄って、一緒に住みよいまちをつくっていくこと、つまり地域のみんで担うまちづくりのことです。(注)NPO: Non Profit Organization 民間非営利組織のこと



### 今なぜ協働のまちづくりなの?

少子高齢化や情報化、国際化の進展など社会環境が大きく変化していく中で、個人のライフスタイルや価値観も多様化しています。行政、地域、NPOなどの組織が単独で地域の課題を解決し、全てのニーズに応えることは難しくなってきました。そこでこれらの組織が、助け合いながら、自分たちの得意な分野を活かして協力し活動することが求められています。「もっとよいまちにしたい」、「こんな問題を解決したい」という思いを実現するためには、市民のみなさんと行政とがお互いに協力し合いながら、まちづくりを進めていくことが必要です。



### 協働のまちづくりのパートナー、市民活動への支援はなにかあるの?

#### キラリ輝く市民活動活性化補助金

協働のパートナーである市民のみなさんが行う自主的な市民活動を活性化し、協働によるまちづくりを進めるための補助金制度です。

○対象団体: 地域コミュニティ組織、NPO、ボランティア団体など

○対象事業: 地域で支え合うための公益的な活動を行う事業

(地域でできる、思いやり活動・安全安心活動・賑わい創造活動など)  
市のさまざまな部局から交付されるその他の補助金の対象となる事業は除きます。



久留米市イメージキャラクター  
ただいま名前募集中!

平成25年度の募集については、今後、市ホームページや広報くるめでお知らせします。詳しくは下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ》久留米市協働推進部協働推進課  
TEL:0942-30-9064、FAX:0942-30-9711、E-mail:kyodo@city.kurume.fukuoka.jp